

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。  
自由民主党神戸市会議員団・無所属の会  
**神戸市会議員** 灘区

# 吉田健吾

よし だ けん ご



## 神戸市政報告

灘区版

2026.03 vol.24

発行日 ● 令和8年3月11日  
発行元 ● 自由民主党神戸市会議員団・無所属の会  
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1  
TEL078-322-5846 <https://jimjin-kobe.com/>

2025年12月5日  
本会議 委員長報告

令和7年4月18日に神戸空港が国際空港化されました。かつて国が計画をした神戸沖の関西新空港建設は世論を二分し、昭和48年の市長選挙において建設反対の立場であった現職市長が勝利しました。

そこから阪神淡路大震災もありましたが、神戸経済にはやはり空港は必要であるという経済界や神戸市会の中の声があり、平成18年に神戸空港が開港され、その後様々な取り組みの結果この度の国際空港化

に至ります。神戸空港は関西国際空港と伊丹空港を補完する空港とした位置付けがなされ、神戸以西の新たな航空需要を喚起することも期待されています。

慶応3年に開港して以来、今年度は第二の開港であると考えています。日本の中の神戸だけではなく、世界の中で神戸が存在感を放つことが日本全体の活力にも繋がります。新たな国際都市としての神戸市がより発展するように取り組んでまいります。



▲2024年11月8日外郭団体に関する特別委員会にて議事進行

# 自由民主党 神戸市会議員団・無所属の会 吉田健吾の動かす力

2025年、神戸をもっと良くするために、吉田健吾がどこで誰と何を動かしてきたのか。党派や役職の枠を超えて、現場の課題を形にしてきた「活動の記録」をまとめました。これからの神戸をどう変えていくのか、神戸市民からの一問一答形式で等身大の言葉をお届けします。

## 令和8年度神戸市の予算

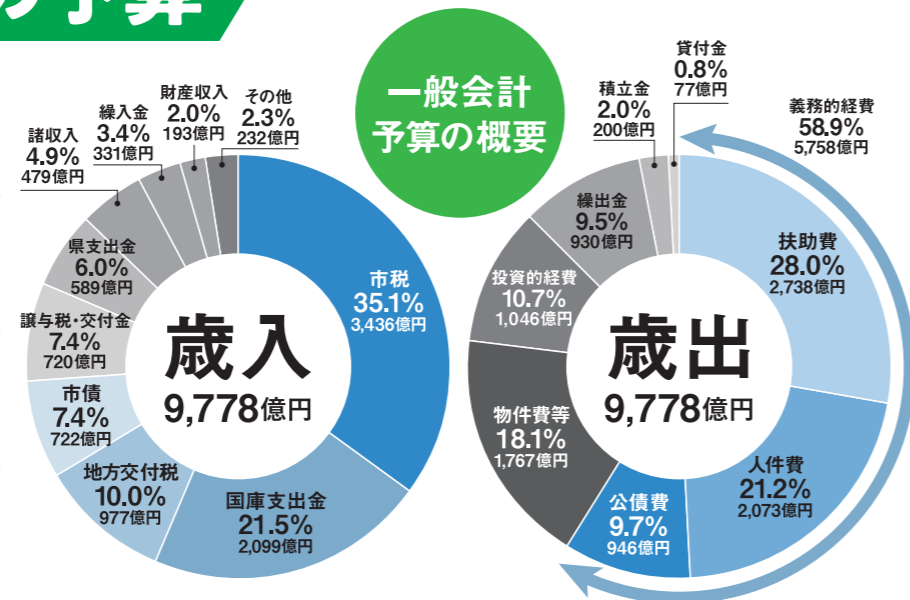
海と山が育むグローバル貢献都市の実現

**予算総額** 2兆146億円  
(前年度比:-184億円)

**一般会計** 福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。  
9,778億円 (前年度比:-281億円)

**特別会計** 国民健康保険や介護保険、市営住宅など、特定の収入で行う事業の会計です。  
7,529億円 (前年度比:+410億円)

**企業会計** バスや地下鉄、上下水道など、主に利用者のみなさんが支払う料金収入等で行う事業の会計です。  
2,840億円 (前年度比:-313億円)



**市民1人あたりの行政コスト**  
一般会計の支出を市民一人あたりにすると  
**66万円になります**



※令和7年12月31日時点の住民基本台帳に基づく人口1,486,157人で算出しています。※本予算案は議会での議決を経て成立した上で、実施されます。

## Q2 税金の使い道を正して動かす!

6月に「外郭団体の改革」について報告されていましたよね。そもそも外郭団体って何ですか? 私たちの税金がどう守られるのか、伺いたいです。

**吉田** 神戸市の外郭団体は、市が25%以上出資する28団体で、柔軟な市民サービスを担っています。かつては64団体ありましたが、民営化や統合等の見直しを継続。市会の特別委員会では令和6年から委員長を務め、無駄がないか、民間との役割分担が適切か厳格に審査しています。今後も市政最適化へ向け、議会から注視します。(写真は2025年5月30日外郭団体に関する特別委員会の様子)

## Q3 瀬戸内の連携で動かす!

12月に瀬戸内の10都市で新しいグループを作ったとか。広島や岡山など10市の議会が参加する大きな組織ですが、神戸がこの連携を強めていくことには、どんな戦略があるのですか?

**吉田** 昨年4月に国際化された神戸空港は、関西三空港の需要を補完し、さらには神戸以西の需要にも対応する重要な役割を担っています。そこで、日本を代表する名所である瀬戸内海の魅力をより一層高めるため、沿岸10市の議会が連携する連盟を設立しました。観光コンテンツを充実させ、各地の魅力ある観光地と神戸空港を強く結びつけることで、空港の強みを最大限に引き出し、活性化を図っていくのが狙いです。

決算特別委員会についてはナカ面をご覧ください。▶



1. 災害時要援護者支援について



近年、神戸市内では大きな災害が発生していませんが、備えをジブンゴトと捉える意識が不可欠です。本市では条例に基づき約26万人の要援護者リストを作成していますが、地域への提供が進んでいるのは全192地区のうち76地区です。個人情報の壁や担い手不足が壁となっていますが、万が一の際、周囲が「誰が情報を持っているか」を知ることで協力できる体制も重要です。より実効的な支援に向け、若い世代の参画や運用の工夫が必要です。

個別対応で丁寧に

2. 障がい児(者)の計画相談支援について

障がい児の計画相談導入率が低く、セルフプラン利用者が多い本市。複雑な制度下で孤立し、支援から漏れる方が出ているはなりません。初回利用時や転機に、必要な支援を適切に選択できるような、一歩目のサポートを期待します。

さらに強化へ



3. 障がい者の就労支援・開拓員について



令和6年4月の法定雇用率引き上げに伴い、対象事業主も拡大されます。市は「障がい者雇用推進員」を配置し、未達成企業490社への訪問を終えましたが、ゼロから関係を築くのは困難であり、今後は銀行、信用金庫、保険会社や経済団体など地域の実情を知る民間の人的ネットワークや知見を積極的に活用し、仲間を作る観点で取り組むべきです。

また、週20時間未満の「超短時間雇用」は、フルタイム就労が難しい方にとって現実的な選択肢であり、このノウハウを横展開すれば、ひきこもり状態にある方の社会復帰や、高齢者の健康増進・活躍の場づくりにも繋がります。誰もが活躍できるまちの実現に向け、実効性ある取り組みが重要です。

民間企業のご協力を

2025年9月10日  
決算特別委員会  
福祉局へ質問



1. スマートメーターの導入に向けて



将来の人手不足を見据え、自動検針の切り札であるスマートメーター導入が急務です。コストや電池寿命等の課題に対し、電力会社との共同検針や地域特性に応じたAMR方式の活用など、柔軟な検討を進めるべきです。1つの方式に拘らずベストミックスという考え方も持つべきです。

国動向注視

2. 再生可能エネルギーの活用に向けた現在の取り組み状況

水道管の流圧で発電する小水力発電や太陽光発電等の活用状況を把握し、更なる再エネ活用の推進を願います。

積極的に



3. こども向け広報の充実について

裏側体験ツアー等の好評な取組を継続し、科学館閉館後も体験の場を確保すべきです。広場の暫定活用や探究学習への対応など、こどもの興味を引く広報の充実を期待します。



出典: KOBE WATER LABO

努力していく

4. 水道局用地の活用について



水道局の遊休地は、地域の未来を創る貴重な共有財産です。例えばラグビー日本代表の李承信選手も水道施設の上部利用をした公園で技を磨いたように、スポーツ広場としての暫定利用など、次世代を育む柔軟な運用を検討すべきです。単なる売却益の確保に捉われず、土地を宝の持ち腐れにしない、既存の枠組みを超え、今の市民ニーズや暮らしの実情に即した、具体的で実効性のある用地活用の仕組みづくりを期待します。

検討

5. 国際貢献の取り組み



神戸の優れた水道技術を活かし、海外の課題解決に貢献する国際協力を推進すべきです。単なる技術支援に留まらず、現地の環境改善を通じて市内企業の海外展開や神戸の存在感向上に繋げることが肝要です。国際貢献都市として、官民連携による戦略的視点で、世界の水環境と神戸の未来を共に拓く具体策を講じるべきです。

地元企業支援



1. 歯科口腔保健の推進について

① フッ化物洗口の拡充について

小学校でのフッ化物洗口が本格化しました。本市では選択制家庭洗口と学校集団洗口の併用ですが、子どもの健康を守るため集団洗口を実施する重点校の拡大が急務です。教育委員会とも連携して拡大することを期待します。

推進へ



② 国民皆歯科検診に向けた節目検診の拡充について

受診率が低迷する中、全身の健康に直結する口腔ケアの重要性を発信し、多忙な「働き世代」が受診しやすい環境整備と周知の強化が必要です。国民皆歯科健診を見据え、節目検診の拡充をすべきです。

30歳拡充

2. 災害対策について

災害急性期の医療確保に向け、神戸市医師会が救護チーム「D-KOMET」を発足しました。今後、訓練の充実や、避難所の備蓄拡充を急ぐべきです。また、通信途絶時を見据えた災害拠点病院等への「スターリンク」配備も不可欠です。現場の声を活かした、実効性ある備えを提案します。

各区訓練で



3. 地域ネコ活動と公園管理について

地域ネコ活動の理解促進へ広報紙等での周知を。マナー違反を防ぎ、公園管理者との連携強化を願います。

検討



4. 食育・こへ食フレの充実について

不登校と栄養不足の関連性等、専門知見を「こへ食フレ」で発信し、保護者への普及と食育の充実を提案します。

充実へ



5. アピアランス支援について

がん治療等による外見変化を補う「アピアランス支援」の認知度は、調査で約2割と低迷しています。患者や家族が抱える精神的・経済的不安に寄り添うため、この「生の声」を施策に反映すべきです。ウィッグ助成の利便性向上や相談体制の強化など、誰もが自分らしく過ごせる支援の拡充を検討願います。

改善へ



自由民主党  
神戸市会議員 灘区  
吉田健吾  
神戸市政報告

吉田健吾の予算要望 (抜粋)

① 【防犯】最新AIで街の安全を強化!

AIでカメラ映像を分析し、犯罪抑止やルール違反の特定に役立てるよう要望しました。

② 【防災】避難所の鍵渡しで「命」を守る

災害時に住民が自ら避難所を円滑に開けられるよう、鍵渡しと訓練の予算化を要望しました。

③ 【教育】不登校の学びを孤立させない!

学校外でも専門家が寄り添い、どんな場所でも学びを諦めなくてよい環境づくりを要望しました。

④ 【子育て支援】療育の「待ち」をDXで解消

児童発達支援をデジタル化し、相談から療育まで滞らない体制を最優先で築くよう要望しました。

⑤ 【スポーツ】新スタジアムで市民も気軽に

王子公園の新スタジアムは専用利用以外の時間帯、市民も気軽に利用できる機会の確保を要望しました。

⑥ 【お墓】将来の不安を柔軟な仕組みで解決

合葬墓に期限付き契約を導入するなど、市民の不安に寄り添う新しい供養の形を要望しました。

⑦ 【食・農業】地産地消で自給率アップ!

地元産品のブランド力を活かした地産地消を進め、食の安全と自給率向上を要望しました。

⑧ 【六甲山】登山道のトイレや道標を整備

登山客の増加に応え、トイレの高度化や道標整備など安全な山登りの環境整備を要望しました。

⑨ 【レジャー】山上交通をもっと便利に!

六甲・摩耶山へ気軽にいけるよう交通の便を改善し、自然を健康に活かす仕組みを要望しました。

⑩ 【街づくり】王子公園から地域を元気に!

再整備を機に周辺へ民間投資を呼び込み、新しい賑わいと地域の価値を高めるよう要望しました。

⑪ 【防火】狭い路地裏の火災対策を万全に

消火栓・消化ボックスを増設し、消防車が入りにくい地域でも火災から命を守る体制強化を要望しました。

⑫ 【土地活用】水道用地をスポーツ広場に

余剰地を売るだけでなく、練習場など市民の活動の場として貸し出す柔軟な運用を要望しました。

⑬ 【交通安全】六甲駅前の混雑を解消!

バスや車両が輻輳する駅前の動線を再整理し、歩行者が事故に遭わない安全対策を要望しました。

⑭ 【福祉】障がい者の「働く」を全力支援

障がいがある方も地域で自立して働けるよう、企業への啓発や相談体制の強化を要望しました。



要望全文